

# 原告準備書面 1

～教員の勤務実態調査について～

2019年2月22日  
第2回口頭弁論期日

# 教員の勤務実態調査



教員は**長時間にわたる時間外労働**を余儀なくされている

教員の長時間労働は**全国的に共通**したものである

教員の長時間労働は**年間を通じて恒常化**したものである

# 文部科学省による教員勤務実態調査

## 昭和41年度調査

- ・ **1週間**の時間外勤務時間数  
小学校： **1時間20分**  
中学校： **2時間00分**  
全体： **1時間48分**

給特法による  
「教職調整額4%」  
の根拠

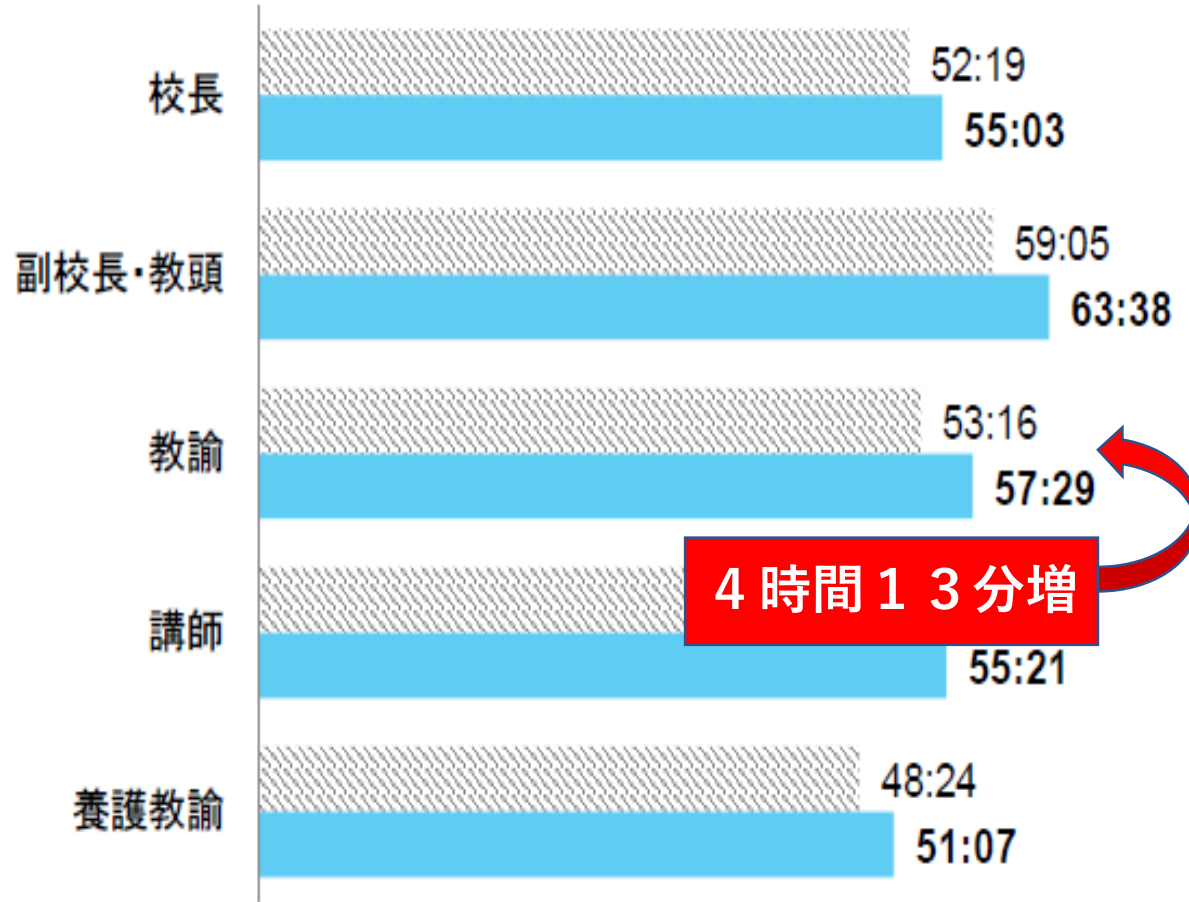
## 平成28年度調査

- ・ **1週間**の総勤務時間数  
小学校： **57時間20分**（時間外 = **18時間44分**）  
中学校： **63時間20分**（時間外 = **24時間45分**）

職種別 教員の1週間当たりの学内総勤務時間(持ち帰り時間は含まない。)(時間:分)

甲5号証

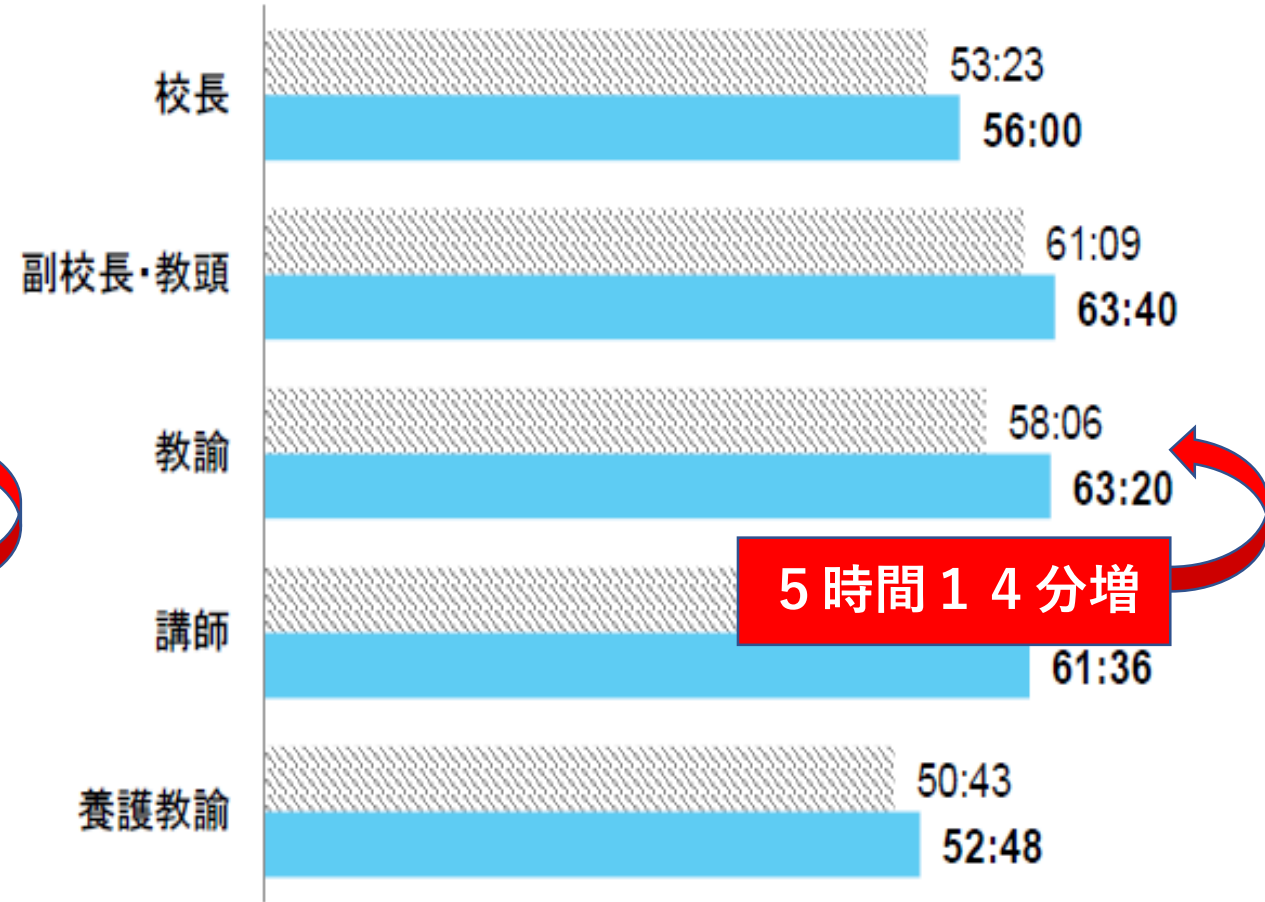
小学校



4時間13分増

▨ 平成18年度 ■ 平成28年度

中学校



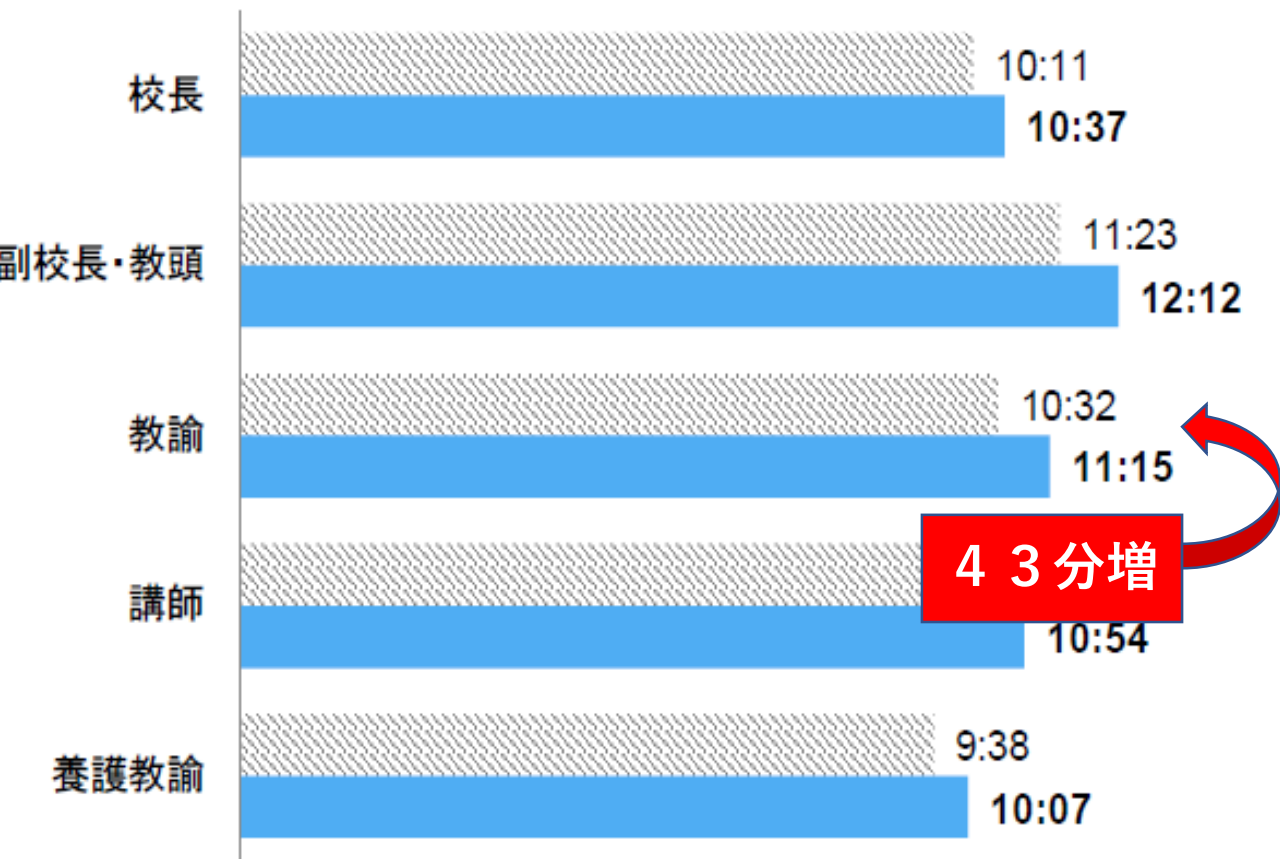
5時間14分増

▨ 平成18年度 ■ 平成28年度

職種別 教員の1日当たりの学内勤務時間(持ち帰り時間は含まない。)(平日 時間:分)

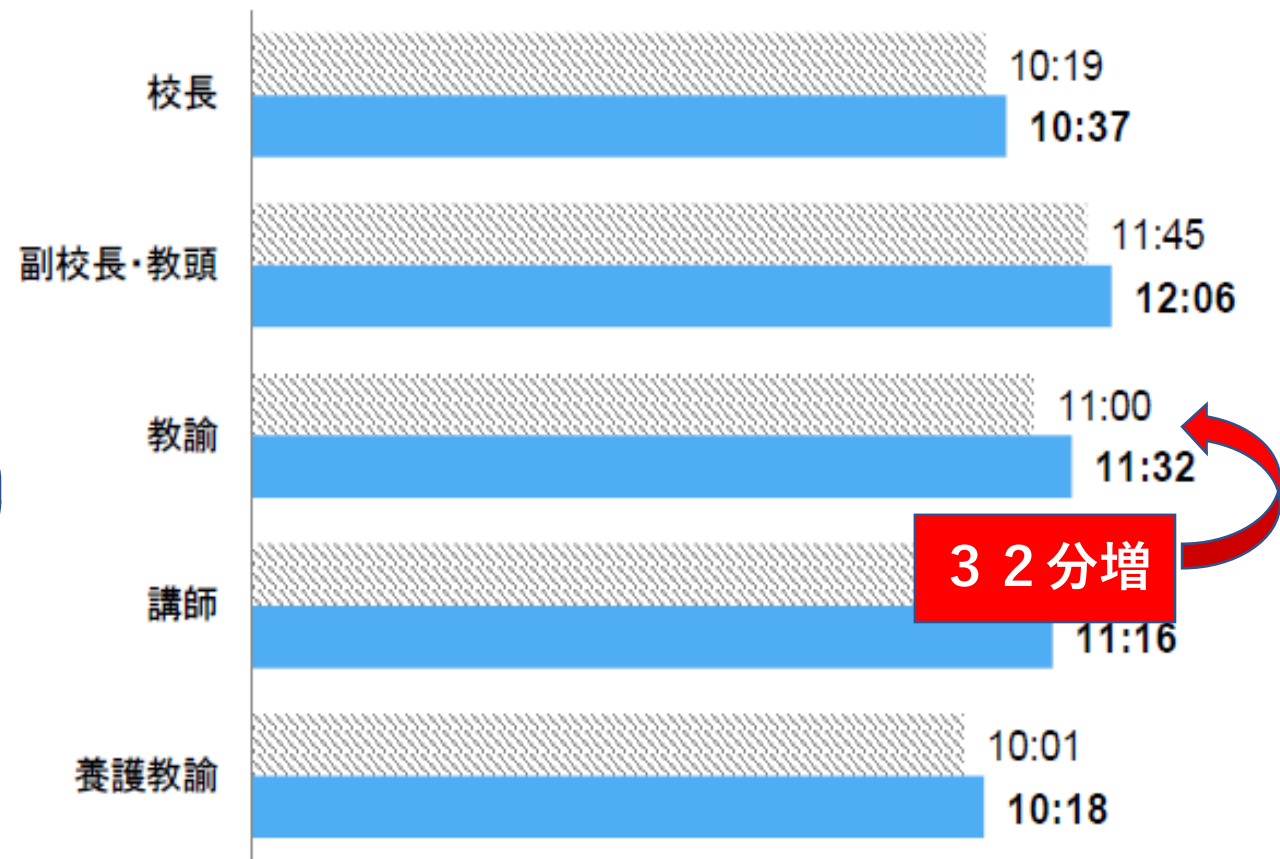
甲5号証

小学校



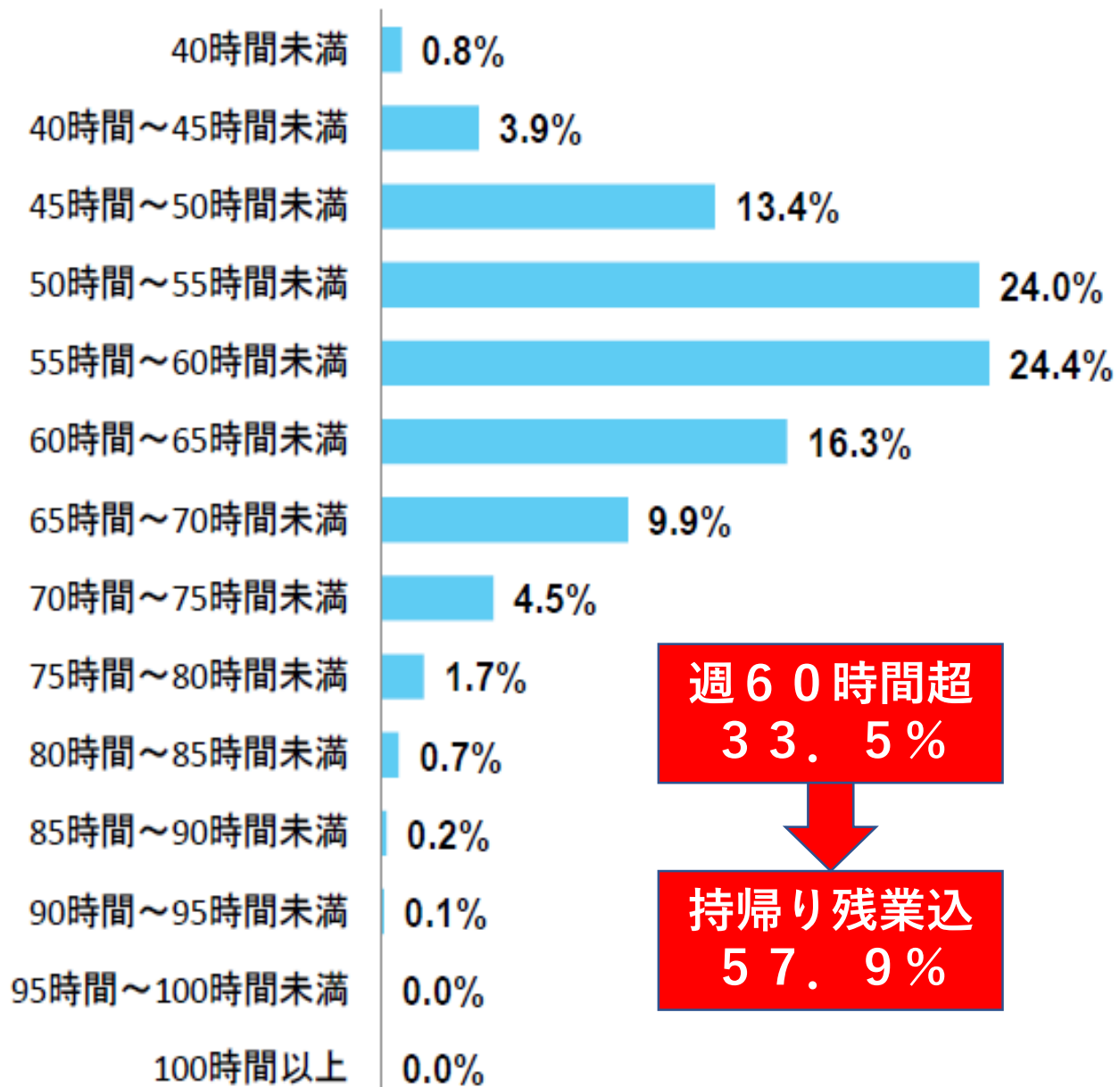
⊞ 平成18年度 ■ 平成28年度

中学校

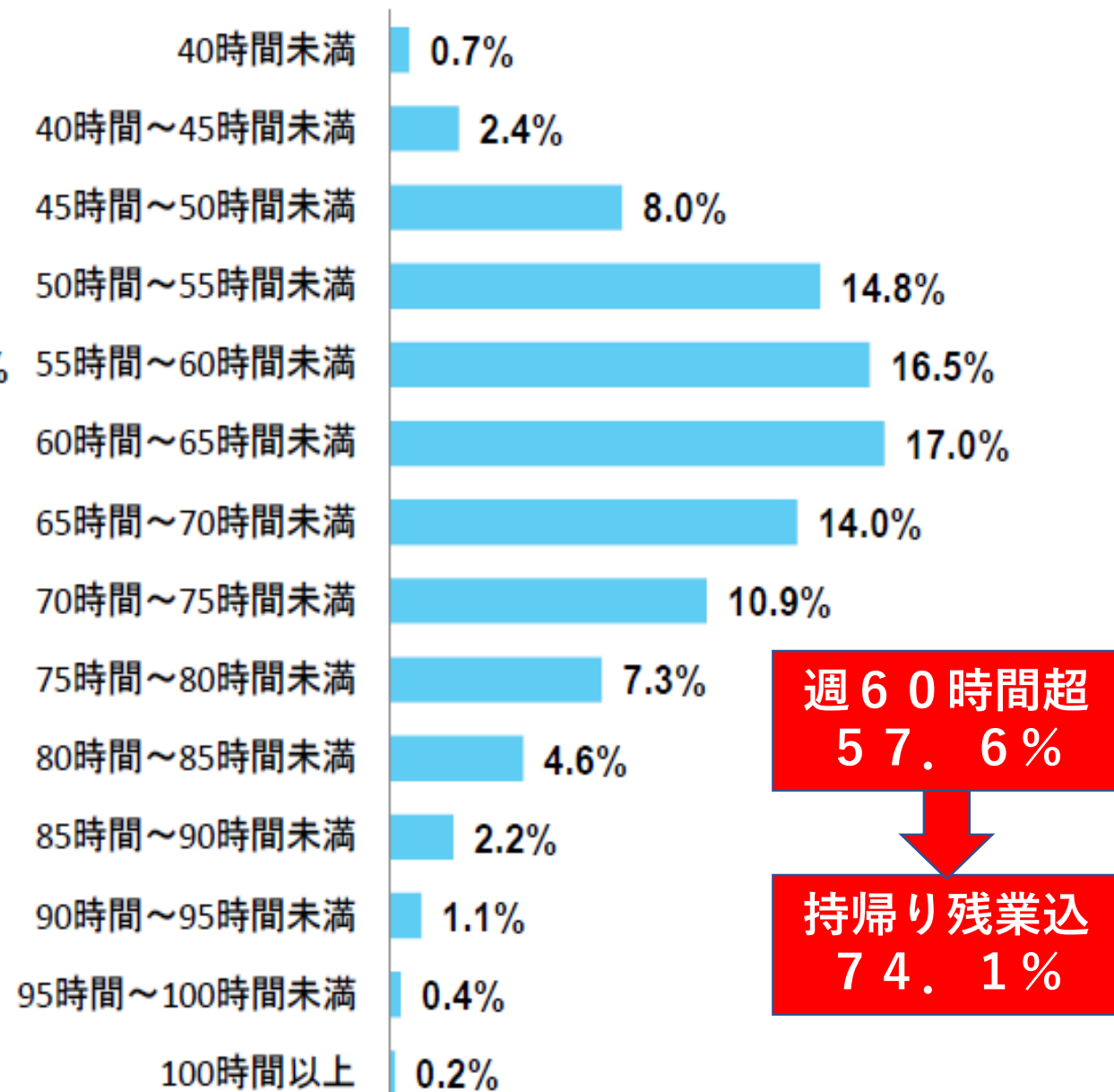


⊞ 平成18年度 ■ 平成28年度

## 1週間の学内総勤務時間(小学校・教諭)



## 1週間の学内総勤務時間(中学校・教諭)



# 文部科学省による教員勤務実態調査

- **夏季休業期**にも時間外勤務が発生している
- **休憩時間**は1日10分程度しか取れていない
- 「**授業**」「**学年・学級経営**」「**学校経営**」「**事務・報告書作成**」の業務時間が増加
- 教諭の**約9割**が「**仕事に追われて生活のゆとりがない**」  
「**教員が行うべき仕事が多すぎる**」と回答

# その他の調査

## TARIS 2013（諸外国との比較）

日本の教員の1週間当たりの勤務時間は**参加国最長**  
（日本**53.9時間**、参加国平均**38.3時間**）

## 「教員の仕事と意識に関する調査」

平日の学校内仕事時間

小学校教諭：**11時間8分**

中学校教諭：**11時間32分**

ほぼ全ての教員が「**授業の準備をする時間が足りない**」



# その他の調査

## 連合総研調査

週60時間以上働いている教員の割合

小学校教諭：72.9%

中学校教諭：86.9%

## 「第6回学習指導基本調査」

1日の在校時間

小学校教員：11時間54分

中学校教諭：12時間30分

# まとめ

全国の教員が、業務量の多さ等に起因して、**所定労働時間を大きく上回る長時間労働**を余儀なくされているという実態は、**明白**



「**時間外勤務を命じない**」という給特法の建前には**大きく反する**実態がある



給料月額のみならず「**4%**」の「**教職調整額**」の支給をもって、教員の時間外勤務は**全て包括的に評価**されている？